

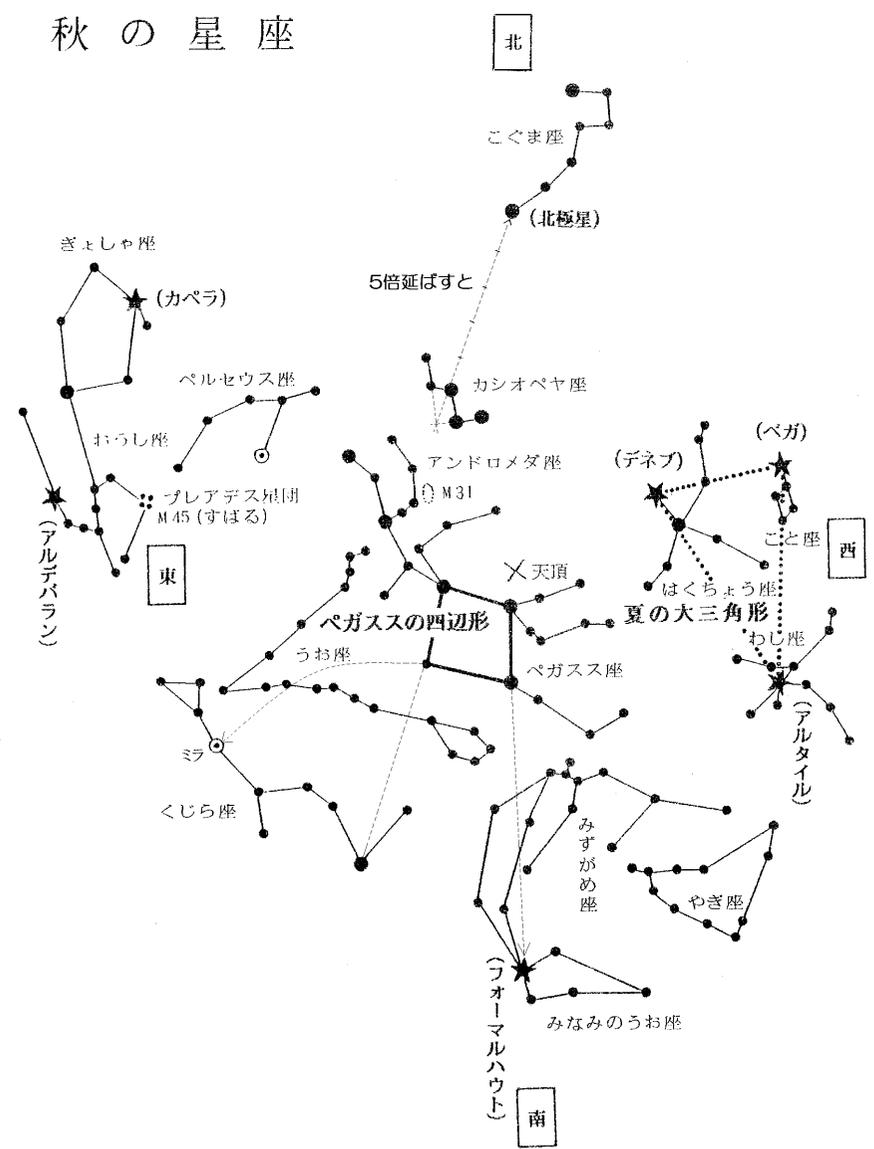
あき ほしぞら 秋の星空をながめよう

夏の星座は西に傾き、南の空には秋の星座が広がってきました。ところが、秋の星空は、明るい星が少ないため、なんとなくさみしい印象を受けてしまいます。その中で、南の地平線近くに一つだけ、ぽつんと黄色くかがやいている星が目につきます。秋の星座でただ一つの1等星みなみのうお座のフォーマルハウトです。そして、もうひとつ目につくのは、大きな四角形を持ったペガサス座です。この四角形はペガサスの四辺形とも呼ばれています。このペガサスの四辺形は、フォーマルハウトやほかの秋の星座を見つけるうえで、とても便利な手がかりにもなります。

さて、北極星を見つける目じるしとなる北斗七星は、どこでしょうか？ 実は、この時期、地平線に沈んでしまい見ることができません。そこで秋の星空では、北東の空に上がっているW字形のカシオペヤ座が、北極星を見つけるための目じるしとなります。右図のように、カシオペヤ座のW字形から点線のようにたどると北極星を見つけられます。みなさんも、ぜひ自分の目で確かめてください。

公益財団法人広島市文化財団
 広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター
 〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目73番地の20
 TEL082-238-6301 FAX082-238-6302
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>

秋の星座



11月初旬の午後8時頃の星空